

	本庁舎 〒035-8686 むつ市中央一丁目8-1 電話 (0175)22-1111 F A X (0175)23-5178 HPアドレス http://www.city.mutsu.lg.jp (H25.7月よりFace Bookも立ち上げました。)	市長 宮下 順一郎 副市長 新谷 加水 市議会議長 山本 留義
	住基人口 (H26.3.末)	61,903人

キャッチフレーズ

『人と自然が輝く やすらぎと活力の大地 陸奥の国』

市章

ひらがなの「むつ」を図案化し、融和と飛躍発展を象徴したものです。

(昭和35年11月1日制定)

市の花



はまなす

市の木



ひば

市の鳥



はくちょう

(いずれも平成21年9月1日に制定されました。)

市のあゆみ

明治22年の市町村制施行により、現在のむつ市を形成する、田名部村、大湊村、川内村、大畑村、脇野沢村が誕生し、田名部村は明治32年、川内村は大正6年、大湊村は昭和3年、大畑村は昭和9年に町制を施行しました。

下北地方の政治、経済、交通の中心地として成長してきた田名部町と、海軍水雷団の設置から自衛隊の基地として発展を遂げた大湊町は、下北地方の中核都市として人口10万人の田園工業都市を目指し、昭和34年9月1日に「大湊田名部市」として合併し、翌年の8月1日に全国初のひらがなの市「むつ市」に改称しました。

その後、下北半島を一周する道路の国道への昇格（国道279号、国道338号）、原子力船「むつ」（現在は、世界最大級の海洋地球研究船「みらい」）の関根浜新母港の完成をはじめ、各種基盤整備を行うことにより、下北地方の中核都市として産業、交通、福祉、環境等総合的な都市基盤の整備と就業機会の拡大、所得水準の向上に努めてきました。

このような中、平成17年3月14日に、ホタテ養殖等の漁業を中心としたまちづくりを進めてきた川内町、室町時代から続いているヒバ材搬出等の林業及びイカを中心とした漁業等によりまちづくりを進めてきた大畑町、タラとともに歩みまちづくりを進めてきた脇野沢村の3町村と合併し、新しいむつ市となりました。

新「むつ市」の将来像『人と自然が輝く やすらぎと活力の大地 陸奥の国』の実現に向けて、着実に歩みを進めています。

むつ市HP（ホームページ）でも統計に関する情報を提供しております。



ここをクリックしてください。

利用にあたって

1. 資料は原則として暦年又は年度で集計された数値を収録しております。
2. 資料の中に秘匿情報がある場合や個人や事業所・企業が特定される場合などは、県や国に準拠して数値を意図的に秘匿して表しているものもあります。
3. それぞれの資料は、官公庁、民間団体、庁内各部署からの提供によるもののほか、当課において直接調査収集した資料となります。
4. 数値の単位は各統計表に付記しておりますが、小数点以下については四捨五入又は端数を切り捨てしている関係上、内訳の計が総数と合致しない場合もあります。
5. 各統計表の符号については、以下のとおりです。
 - 「0」・・・単位未満
 - 「△」・・・負号（主に増減を比較した場合に使用）
 - 「-」・・・負号又は該当数値なしの場合に使用するが、気温の場合は零下を指す。
 - 「X」・・・秘匿数値（該当数値はあるが、公表を差し控えた情報）